

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 芦屋はまゆう

作成日: 平成 29 年 1 月 26 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	有識者や知見者の参加委員を増やし、会議の内容が高齢者サービスの推進に繋がる地域貢献の会議となる様に取り組む。	運営推進会議がホームの繁栄だけではなく、参加者全員が、高齢者介護や認知症予防等の知識を習得し、参加の意義に繋がり、会議を通して地域福祉の貢献に取り組んでいく。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護技術の差があるので、研修会や勉強会を通じて、職員の介護知識や技術の向上に取り組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	外部の研修会に習熟度に合わせて職員を派遣し、知識を習得し、社会勉強して、意識の高揚を図り、職員の意欲に繋がる職場を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。